令和８年度（２０２６年度）

第　１５　回　定　例　庁　議

令和８年１１月１６日(月)午前８時３０分～
第一応接室（担当：総合戦略室 内線1111）

１　報告事項

⑴　「市民に身近な市役所づくり」プロジェクトの取組状況について（総務部・総合戦略局）

⑵　東アジア文化都市２０２６松本の閉幕について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（文化観光部）

庁 議 日 程 に つ い て

第１６回定例庁議	１２月　４日(金)	８時３０分～
第１７回定例庁議	１２月２２日(火)	８時３０分～

庁議資料
８．１１．１６
総務部・総合戦略局

（報告事項）

「市民に身近な市役所づくり」プロジェクトの取組状況について

１　趣旨

全庁的な業務改革を推進するために設置した「市民に身近な市役所づくり」プロジェクト（以下「プロジェクト」という。）の取組状況について報告するものです。

２　経過

７．　８．２５　　プロジェクトを設置。以降、各タスクフォースで取組みを開始
８．　７．　９　　「保有文書量調査及び削減に向けた手法検討支援業務」キックオフ
　　１０　　「オフィス環境整備支援業務」キックオフ
　９．２４　　「書かない窓口支援システム」導入に係る事業者選考を開始
１１．　５　　「窓口機能実装特命チーム」キックオフ

３　取組状況

タスクフォース名	内　容	
新たなワンストップサービス実装	進捗	・新たなワンストップサービスの実装に向け、「書かない窓口支援システム」の調達を開始しました。 ・合わせて、（仮称）松本市役所保健所庁舎での実装を見据え、窓口機能で提供するメニュー、組織体制等の具体化に着手しました。
	今後の予定	・早期の「書かない窓口」実装に向け、システム導入及び市民課を中心にＢＰＲを進めます。 ・（仮称）松本市役所保健所庁舎における新たなワンストップサービスの具体的な業務オペレーション等を整理します。
ペーパーレス推進	進捗	・既存制度の遵守徹底により脇机約２００台を廃止しました。 ・全庁的な文書量調査を実施しています。
	今後の予定	・文書量調査の結果を速やかに取りまとめ、保有文書の全体量、文書量の将来推計及び削減手法を整理します。
快適な執務環境創出	進捗	・新庁舎における執務環境のコンセプト策定に向け、現庁舎のオフィス環境調査及び若手職員３２名を対象としたワークショップを実施しています。 ・サンクスカード、ＡＢＷラウンジの試験実証、スーパーデジタル人材の養成等、順次可能なものから、提言実現に向けた取組みを進めています。
	今後の予定	・執務室に加え、組織文化及び働き方等、ソフト面も含めた快適な執務環境実現に向けた取組の全体像を整理します。

４　今後の進め方

引き続き、各タスクフォースにおいて取組みを進め、適宜、新庁舎の設計等に反映するとともに、新庁舎建設を待たずして着手できるものは実現に向け適時適切に取組みを進めます。

担当
新庁舎整備課　課長　赤羽　剛志（内線２９２２）
ＤＸ推進本部　次長　折井　誠　（内線５４２１０）
行政管理課　　課長　長岡　大介（内線１２１０）

庁議資料
８．１１．１６
文化観光部

（報告事項）

東アジア文化都市２０２６松本の閉幕について

１　趣旨

「東アジア文化都市２０２６松本」の閉幕式等の概要について報告するものです。

２　閉幕式の概要

⑴　目的

一年間にわたる「東アジア文化都市２０２６松本」の成果を共有・発信するとともに、日中韓の文化交流によって育まれたつながりを、未来へつなぐ節目とするもの

⑵　主催

東アジア文化都市２０２６松本市実行委員会（会長：松本市長）

⑶　出席者

中韓各都市訪問団、地元選出国会議員、長野県議会議員、文化庁、政府省庁関係者実行委員会など、関係者約２００名及び、一般来場者

⑷　日時　　令和８年１２月１３日（日）１４時（１３時開場）

⑸　会場　　キッセイ文化ホール

⑹　中国及び韓国の都市の出席について

ア　中国：蘇州市及び大理白族自治州からは回答無し

イ　韓国：安東市は２９名（副市長他行政職員７名、市民合唱団２１名）が出席予定

⑺　主な内容

別添資料のとおり

３　その他

職員の協力体制については、文化観光部内で動員対応します。

東アジア文化都市
2026松本
Culture City of East Asia
2026 MATSUMOTO

担当　文化振興課
課長　武藤　美紀
（内線 3150）

別添資料

閉幕事業の概要

時　間	会場 (いずれもキッセイ文化ホール内)	内容
振り返り展示 （１２時～１９時）	１階エントランス 及び ２階ロビー (時間中は自由に観覧可)	■映像 振り返りムービーを常時放映予定 ■展示 １　実施事業をパネルで紹介(約 100 事業) ２　日中韓芸術家レジデンス事業作品 ３　松本おまつりカルタを展示 ４　松本クエストの紹介
【第１部】 閉幕式 （１４時～１５時）	大ホール	■式次第（予定） １オープニング ２主催者挨拶（実行委会長） ３文化庁長官挨拶 ４各文化都市代表挨拶 ５来賓紹介 ６青少年交流及び若者参画事業の成果発表 ７次期開催都市について（文化庁長官） ８記念写真撮影 ■式典出席予定者 ・中韓各都市訪問団 ・地元選出国会議員、長野県議会議員 ・文化庁、政府省庁関係者 ・実行委員会など 関係者約２００名 ・一般来場者１５００人程度（入場無料）
【第２部】 公演 ベートーヴェン：交響曲第９番第４楽章 （１５時２０分 ～１６時）		■出演者 《指揮者》矢崎彦太郎 《ソリスト》三井清夏、小巻風香、チャールズ・キム、近藤圭 《合唱団》１５０名(CCEA2026 松本特別公募合唱団１３１名、安東市民合唱団１９名) 《CCEA2026 松本特別編成オーケストラ》６２名
閉幕パーティー （１６時３０分 ～１８時３０分）	中ホール	・ディレクター挨拶 ・来賓代表挨拶（市議会議長） ・交流都市との交流（記念品授与等） ■出席者　閉幕式来賓に準じる

東アジア文化都市 2026 松本　閉幕式
「第九」公演　指揮者・ソリストのご紹介

矢崎彦太郎 Hikotaro Yazaki

◆指揮 conductor



©Concerto

上智大学数学科に学び、さらに東京藝術大学指揮科で指揮法を学ぶ。日本フィルハーモニー交響楽団指揮研究員として小澤征爾氏の助手を務めた後、ヨーロッパに渡る。ブザンソン国際指揮者コンクール入賞など。1975 年ボーンマス交響楽団を皮切りに本格的に指揮活動を開始、BBC 交響楽団などに招かれる。1979 年よりパリに拠点を移す一方、同年には東京交響楽団定期演奏会を指揮し日本でも本格的なデビューを果たす。これまでに、東京交響楽団指揮者、旧西ドイツホフ交響楽団音楽監督・首席指揮者、フランス国立トゥールーズ室内管弦楽団、ノルウェー放送管弦楽団、及び東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団首席客演指揮者、バンコク交響楽団音楽監督･首席指揮者、ジャカルタのヌサンタラ交響楽団音楽監督などを歴任。2000 年フランス政府より芸術文化勲章シュヴァリエを、2008 年には同オフィシエ勲章を受勲。02 年エクソンモービル音楽賞奨励賞を受賞。2012 年度文化庁「文化交流使」。パリと東京に活動拠点を置く。

三井清夏 Sayaka Mitsui

◆ソプラノ soprano



©Yoshinobu_Fukaya／aura.Y2

上田市出身。長野県小諸高等学校音楽科卒業。国立音楽大学声楽科卒業、並びにオペラソリストコース修了。同大学院オペラコース修了。二期会オペラ研修所マスタークラス修了、奨励賞及び優秀賞受賞。オクタヴィア・レコードより MOZART SINGERS JAPAN『ドン・ジョヴァンニ』、『フィガロの結婚』、『騙された花婿・カイロの鵞鳥』の CD をリリース。長野県小諸義塾高等学校音楽科特任講師、信州国際音楽村少年少女合唱団指導者。二期会会員。信州アーティスト活動促進事業「next」登録アーティスト

小巻風香 Fuka Komaki

◆メゾ・ソプラノ mezzo soprano



©Shimura_Midori

長野市出身。東京藝術大学音楽学部卒業。大学を卒業と同時に東京混声合唱団に入団。ヴィヴァルディ《グロリア》、ヘンデル《メサイア》、モーツァルト《レクイエム》、J. S. バッハ《ミサ曲ロ短調》などの作品でソリストを数多く務める。東京、長野を中心にコンサートの開催、幅広い層の歌唱指導やヴォイストレーニングなどを行っている。コーロ・リベロ・クラシコ、プロムジカ使節団などの録音や公演に参加。バッハ・コレギウム・ジャパン声楽メンバー。
東京混声合唱団団員。

チャールズ・キム Charles Kim

◆テノール tenor



ソウル国立大学、カーティス音楽院で声楽を学ぶ。2002 年から 2011 年までドイツ・ドルトムント市立歌劇場の専属ソリストを務め、以後フリーランスとして世界各地で活動。ヘルデンテノールとして《さまよえるオランダ人》、《タンホイザー》、《ニーベルングの指環》、《トリスタンとイゾルデ》、《パルシファル》などでアーリンダル、ローエングリン、パルジファル、ジークムント、エリック等を歌う。このほか《トスカ》《イル・トロヴァトーレ》、《椿姫》といったオペラや第九、「大地の歌」、ヴェルディ「レクイエム」などをレパートリーとしている。

近藤 圭　Kei Kondo

◆バリトン baritone



長野県出身。国立音楽大学卒業、同大学院を首席で修了。新国立劇場オペラ研修所修了。ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生としてドイツ・ハンブルクにて研鑽を積む。小澤征爾音楽塾《カルメン》ダンカイロ、小澤征爾氏指揮《子どもと魔法》大時計・雄猫など数多くのオペラ公演に出演。セイジ・オザワ 松本フェスティバル《フィガロの結婚》ではフィガロ役のカヴァー歌手を務め、「子どものためのオペラ」では同役で出演。また、バリトン四人組『ハンサム四兄弟』の三男としても活躍中。2025 年 11 月には長野県小海町で新作オペラ《くじらの夫婦》（作曲：西下航平）の企画・台本・演出を務め好評を得た。二期会会員。